



2021.8.5

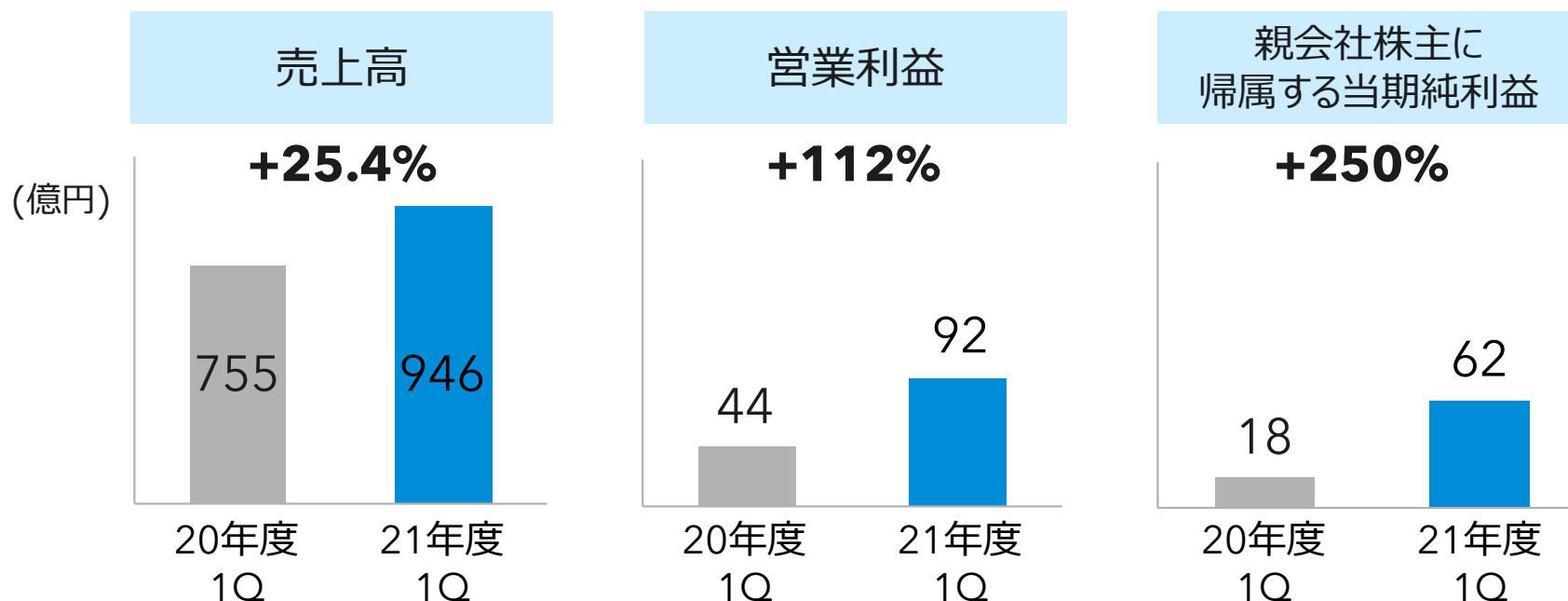
2021年度 第1四半期決算説明

東洋紡株式会社

決算のポイント

第1四半期実績

- ・原燃料価格高騰の影響あるも、工業用フィルム、PCR検査試薬が堅調に推移、
加えて自動車関連の需要も回復し、増収増益
- ・営業利益 92 億円（2.1倍）、当期純利益 62 億円（3.5倍）



2022年3月期通期予想

- ・原燃料価格高騰の影響懸念も、工業用フィルム、PCR検査試薬が堅調に推移しており、
営業利益 290 億円に上方修正。当期利益 130 億円を予想

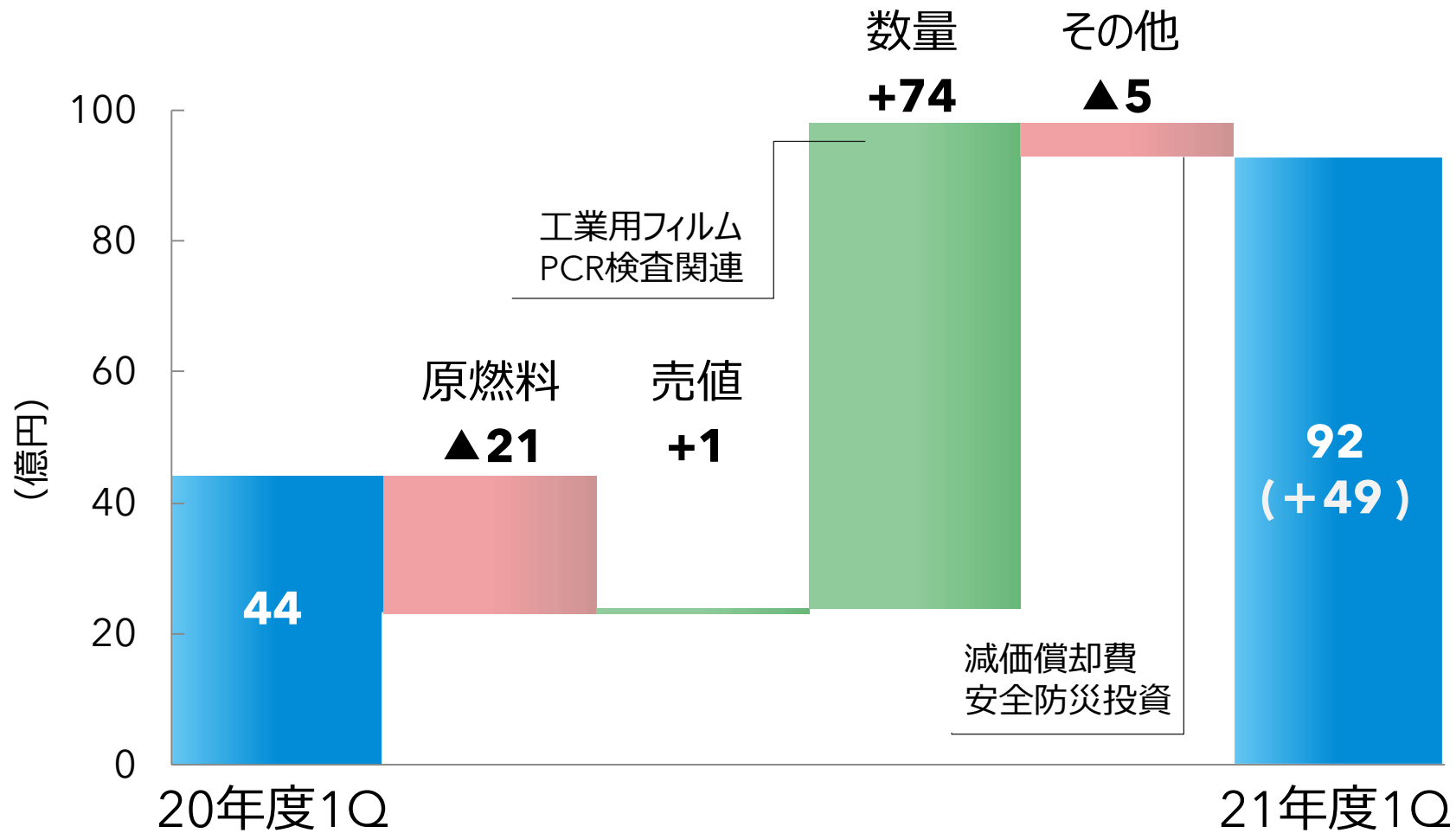
決算サマリー | PL



(億円)

	20年度 1Q	21年度 1Q	増減	
			金額	率
売上高	755	946	+192	+25.4%
営業利益	44	92	+49	+112.1%
(率)	5.8%	9.8%	-	-
経常利益	28	75	+47	+170.2%
特別損益	▲ 4	▲ 5	▲ 1	-
親会社株主に帰属する当期純利益	18	62	+44	+249.8%
EBITDA* <small>* 営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)</small>	88	143	+55	+61.9%
EPS (円)	19.9	69.5	-	-
減価償却費	45	50	+6	+12.8%
設備投資	61	73	+12	+19.0%

営業利益の増減要因



	20年度 1Q	21年度 1Q	直近予想 (21/05)
為替レート (円/US\$)	108	110	105
国産ナフサ (千円/kl)	25	48	44

決算サマリー | BS



	(B)		(A)	(億円)
	20/3末	21/3末	21/6末	増減(A)-(B)
総資産	4,889	4,912	4,924	+12
現預金	252	347	261	▲ 86
たな卸資産	806	763	813	+50
有形固定資産	2,315	2,246	2,271	+25
純資産	1,826	1,886	1,936	+49
自己資本	1,779	1,857	1,907	+50
うち利益剰余金	619	644	669	+25
非支配株主持分	47	29	29	▲ 0
有利子負債	1,751	1,870	1,841	▲ 28
D/E レシオ	0.98	1.01	0.97	-
Net D/E レシオ*	0.84	0.82	0.83	-

* (有利子負債-現預金)
÷自己資本にて算出

決算サマリー | セグメント別



(億円)

	売上高		営業利益		
	20年度 1Q	21年度 1Q	20年度 1Q	21年度 1Q	増減
フィルム・機能マテリアル	363	457	39	68	+29
モビリティ	68	111	▲ 7	▲ 5	+2
生活・環境	229	277	3	15	+11
ライフサイエンス	63	75	10	19	+9
不動産・その他	31	26	5	4	▲ 1
消去・全社	-	-	▲ 7	▲ 8	▲ 1
合計	755	946	44	92	+49

フィルム・機能マテリアル



	20年度 1Q	21年度 1Q	増減	
			金額	率
売上高	363	457	+94	+26.0%
営業利益	39	68	+29	+73.9%
(率)	10.8%	14.9%	-	-

(億円)

包装用フィルム

- 新型コロナウイルス禍の中、巣ごもり需要は継続
- 火災事故により、一部の製品は販売減少
- 原料価格高騰の影響を受ける

工業用フィルム

- 液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”は、新ライン（3号機）の本格稼働により、約30%増収
- セラコン用離型フィルムは、新ライン（加工設備）の本格稼働により、約25%増収
- 東洋紡フィルムソリューション（株）を吸収合併（2021年4月1日）



機能マテリアル

- 工業用接着剤“バイロン”は、国内外で販売堅調



(億円)

	20年度 1Q	21年度 1Q	増減	
			金額	率
売上高	68	111	43	+63.0%
営業利益	▲ 7	▲ 5	2	-
(率)	-	-	-	-

新型コロナウイルス禍からの世界的な自動車需要の回復に伴い、販売は堅調

エンジニアリングプラスチック

- 国内・海外ともに、販売が回復

エアバッグ用基布

- 販売は回復するも、原料価格の急騰により販売価格とのスプレッドが縮小し、苦戦



(億円)

	20年度 1Q	21年度 1Q	増減	
			金額	率
売上高	229	277	48	+21.1%
営業利益	3	15	11	+338.0%
(率)	1.5%	5.4%	-	-

環境ソリューション

- V O C 処理装置は、新型コロナウイルス禍で、一時的に受注が減少し、苦戦

不織布

- 長繊維スパンボンドは、販売伸ばすも、原料高の影響あり
- 機能フィルターは、マスク向けは販売減少も、空気清浄機や自動車関連製品の販売堅調

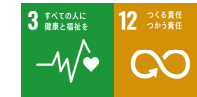
繊維機能材

- ポリエステル短繊維は、原料高の影響あり
- スーパー繊維は、“イザナス”は釣糸・ロープ用途、“ツヌーガ”は耐切創手袋の販売堅調

衣料繊維

- 新型コロナウイルス禍による店頭販売の不振などで、スポーツ・ユニフォーム用途、中東向け特化生地は、販売回復せず

ライフサイエンス



(億円)

	20年度 1Q	21年度 1Q	増減	
			金額	率
売上高	63	75	+11	+18.0%
営業利益	10	19	+9	+86.6%
(率)	15.7%	24.9%	-	-

バイオ

- PCR検査用原料・試薬、遺伝子検査装置・診断薬の販売が拡大

メディカル

- 人工腎臓用中空糸膜の販売堅調



医薬

- 医薬品製剤製造受託事業は、GMP対応のため、操業を一時停止した影響により低調

2021年度業績見通し

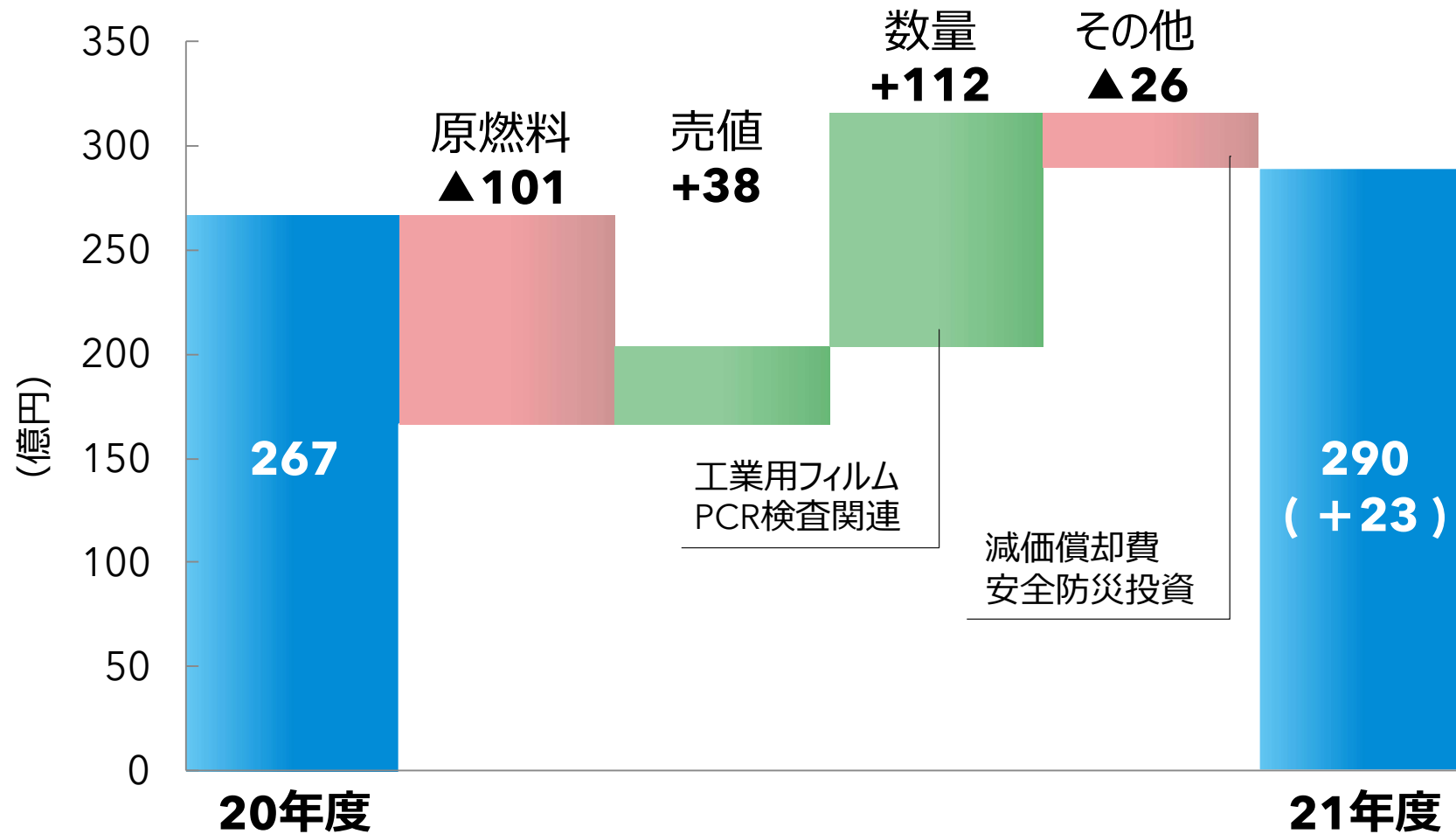


原燃料価格高騰の影響懸念も、工業用フィルム、PCR検査試薬が堅調に推移しており、営業利益 290 億円に上方修正。当期利益 130 億円を予想

(億円)

	20年度	21年度	増減		直近予想 (21/5)
	実績	見通し	金額	率	
売上高	3,374	3,650	+276	+8.2%	3,600
営業利益	267	290	+23	+8.8%	270
(率)	7.9%	7.9%	-	-	7.5%
経常利益	207	240	+33	+15.9%	220
特別損益	▲ 151	▲ 52	-	-	▲ 50
親会社株主に帰属する当期純利益	42	130	+88	-	115
EBITDA	458	490	+32	+7.1%	470
EPS (円)	47.3	146.3	-	-	129.5
減価償却費	191	200	+9	+4.7%	200
設備投資	233	310	+77	+33.3%	310
配当 (円)	40.0	40.0	-	-	40.0

営業利益の増減要因



	20年度	21年度
為替レート (円/US\$)	106	110
国産ナフサ (千円/kl)	31	52

直近予想
(21/05)

105

44

セグメント別見通し



(億円)

	売上高		営業利益			直近予想 (21/5)
	20年度 実績	21年度 見通し	20年度 実績	21年度 見通し	増減	
フィルム・機能マテリアル	1,528	1,700	200	203	+3	200
モビリティ	366	400	▲ 16	▲ 10	+6	▲ 14
生活・環境	1,091	1,130	44	52	+8	46
ライフサイエンス	271	300	45	60	+15	53
不動産・その他	118	120	23	23	▲0	23
消去・全社	-	-	▲ 30	▲ 38	▲8	▲ 38
合計	3,374	3,650	267	290	+23	270

品質の不適切事案の再発防止

【品質の不適切事案の経過】

- ・**プラナックのUL認証取消し**（2020年10月28日）
- ・**プラナックの不適切事案に関する調査結果報告**（2020年12月29日）
- ・ISO9001 エンプラ事業総括部の認証取消し、
機能マテリアル生産技術総括部の認証一時停止（2021年1月28日）
- ・**バイロペット、グラマイド、ペルプレン UL認証取消し**（2021年2月3日）
- ・**品質保証本部を2021年4月1日付で新設**（2021年2月25日）

各事業部門の品質保証総括部および品質保証部を、品質保証本部下に配置。

品質保証部門の独立性を担保。事業部門に対する牽制機能強化

- ・**バイロアミド、PPS樹脂、グリラックスの一部の品番 UL認証取消し**（2021年3月26日）
- ・**ISO9001機能マテリアル生産技術総括部の認証範囲の一時停止解除**（2021年6月9日）

UL関係の不適切事案について調査完了

当社と顧問契約・委任関係がない弁護士事務所、
社外取締役および監査役から構成されるプラナック等事案対応委員会において、
プラナック以外の素材についても調査完了

ご注意



本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社

All Rights Reserved



All Rights Reserved



セグメント別情報



(億円)

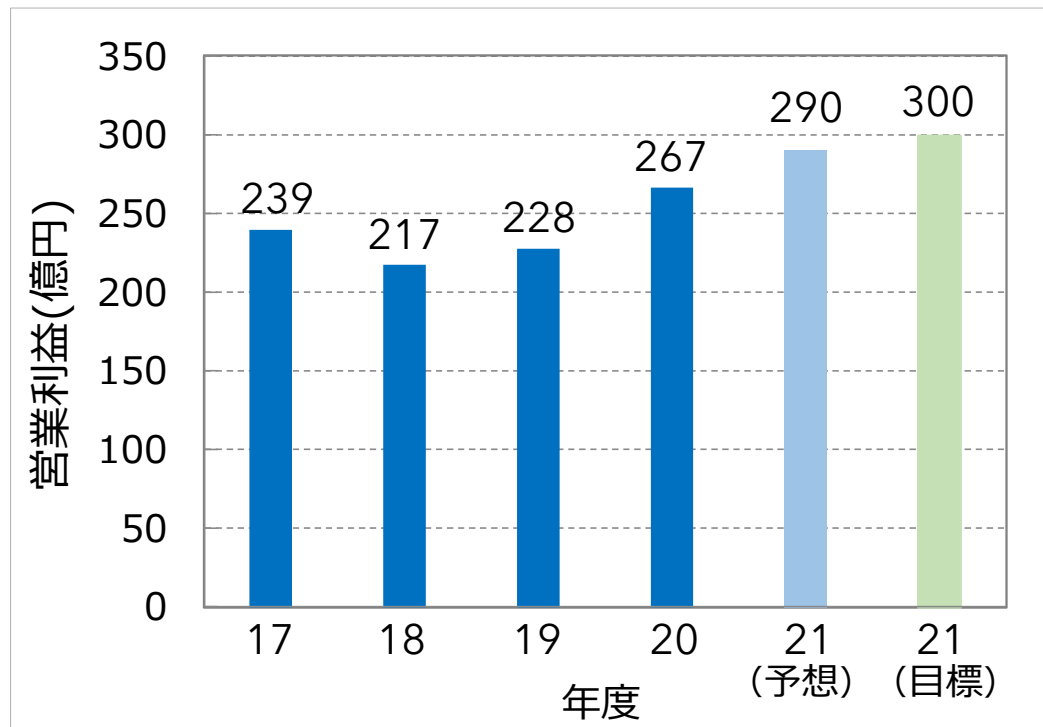
売上高	20年度					21年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
フィルム・機能マテリアル	363	375	392	398	1,528	457
モビリティ	68	82	105	111	366	111
生活・環境	229	273	271	319	1,091	277
ライフサイエンス	63	60	69	79	271	75
不動産・その他	31	31	27	29	118	26
消去・全社	-	-	-	-	-	-
合計	755	821	864	935	3,374	946

営業利益	20年度					21年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
フィルム・機能マテリアル	39	48	56	57	200	68
モビリティ	▲ 7	▲ 6	▲ 4	1	▲ 16	▲ 5
生活・環境	3	14	12	14	44	15
ライフサイエンス	10	6	16	14	45	19
不動産・その他	5	6	6	7	23	4
消去・全社	▲ 7	▲ 7	▲ 8	▲ 8	▲ 30	▲ 8
合計	44	61	79	84	267	92

2018年中期経営計画(2021年度最終年)



火災事故に加え、新型コロナウイルス感染症拡大など、前提条件が変化



	20年度	目標
売上高 (億円)	3,374	3,750
海外売上高比率 (%)	33.0	35.0
営業利益 (億円)	267	300
営業利益率 (%)	7.9	8.0
親会社株主に帰属する 当期純利益 (億円)	42	160
ROE (%)	2.3	≥8.0
ROA (%)	5.4	≥7.0
D/Eレシオ	1.01	<1.0

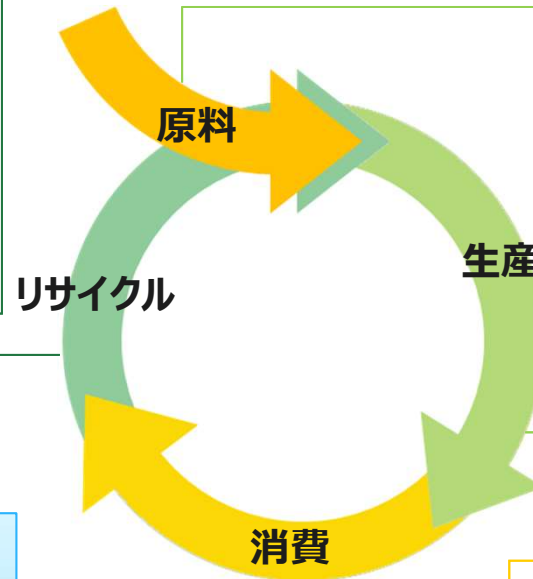
廃棄物ゼロへの実現へ | サーキュラーエコノミー



- **マテリアルリサイクル**
 - ・リサイクル性に優れるポリエステル重合触媒
"TOYOBO GS Catalyst"
- **ケミカルリサイクル**
 - ・廃プラを粗原料に熱分解する開発技術を支援
(株)アールプラスジャパン

Recycle

(株)アールプラスジャパン
業界を超えた共同出資会社
包装容器製造、商社、飲料メーカーなど業界を超えた連携
2027年の実用化を目指す



- **バイオマス**
 - ・100%バイオマスの樹脂
PEF
 - ・植物由来の原料を約20%使用
"バイオプラーナ"
- **リサイクル樹脂**
 - ・PETボトルリサイクル樹脂を80%以上使用したフィルム
"サイクルクリーン"
- **モノマテリアル化**



"バイオプラーナ"使用

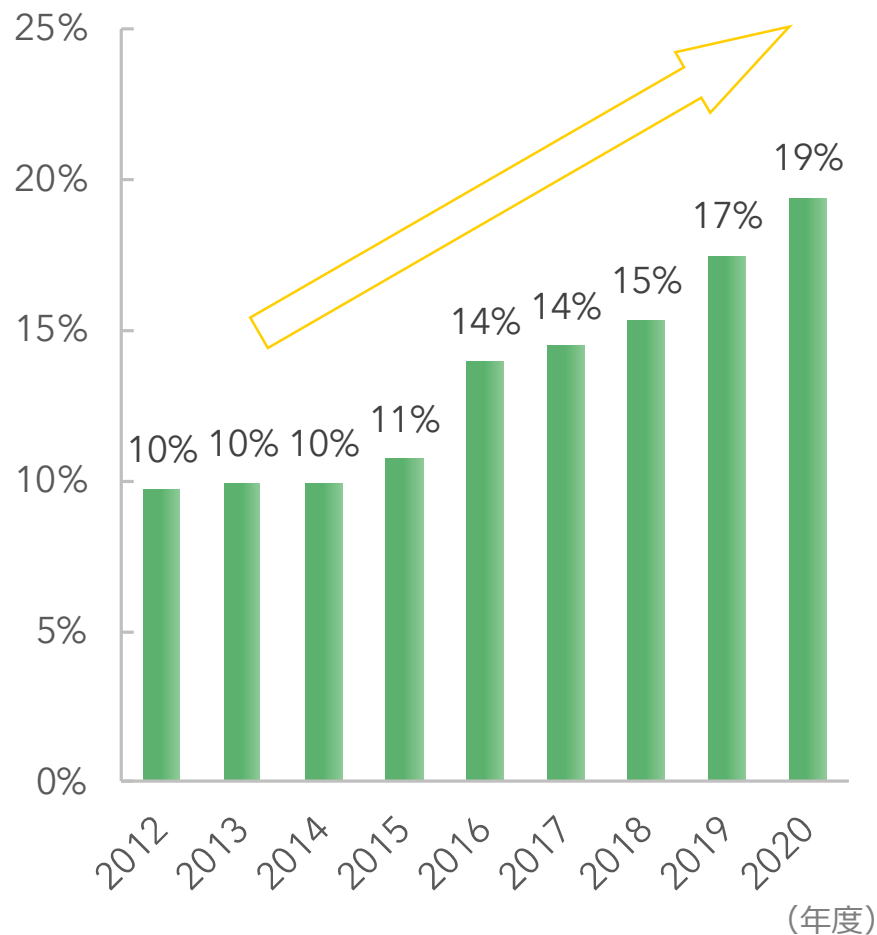
- **減容化・薄肉化**
 - ・厚みを1/2以下に薄くしたフィルム
"スペースクリーン" (20 μ m←40 μ m)
"サイクルクリーン" (12 μ m←30 μ m)



Reduce

環境に配慮した包装用フィルム

包装用フィルム売上高に占める
環境配慮製品の比率



“サイクルクリーン” 減容化・薄肉化
リサイクル樹脂

PETボトルラベル用

“スペースクリーン” 減容化・薄肉化

飲料用ラベル用
低温高収縮性

“バイオプレーナ” バイオマス

“エコシールド”

- ・透明蒸着フィルム。脱PVDC、脱アルミ箔
- ・食品の賞味期限を延長し、**フードロスの減少**に貢献
- ・レトルト、ボイル食品、乾燥食品用
- ・透明蒸着フィルムの世界需要は、年率10%成長



2050年カーボンニュートラル宣言



【2030年度 目標】

Scope1,2 : GHG排出量30%削減 (2013年度比)

(今後、さらなる検討)

2020年度のGHG排出量削減実績 25.7%

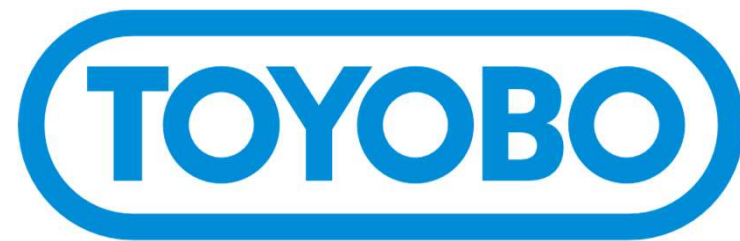
燃料転換、再生可能エネルギー導入等

【2050年度 目標】

Scope1,2 : GHG排出ネットゼロをめざす

GHG削減貢献量 > 当社バリューチェーンのGHG排出量

CO₂分離膜技術、バイオプラスチックなど、各ソリューションの提供等により、
カーボンニュートラルの実現に貢献



All Rights Reserved

ご注意



本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社

All Rights Reserved